

<p>研修名</p>	<p>ひきこもり支援者研修会 「ひきこもりと家族支援」</p>
<p>講師</p>	<p>福岡県立大学看護学部／福岡県立大学大学院看護学研究科 准教授 <small>しのへ</small> 四戸 <small>ともあき</small> 智昭 氏</p>
<p>開催日時</p>	<p>平成 29 年 10 月 27 日(金) 18:30 ~ 20:30</p>
<p>開催場所</p>	<p>北九州市総合保健福祉センター 2 階 講堂</p>
<p>参加者数</p>	<p>84 名 (内訳: 行政機関、医療機関、相談支援機関等の職員)</p>
<p>研修の 内容等</p>	<p>「ひきこもりと家族支援」というテーマに基づき、ひきこもりの相談、支援に携わる方、関心のある方を対象に研修を実施した。</p> <p>研修では、ひきこもりへのアディクションアプローチの観点から、アディクションの特徴、アディクションからみたひきこもりの捉え方、ひきこもりという問題を抱えた家族間の関係性等について、事例を交えながら講義形式で学んだ。</p> 
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりを、アディクションという普段とは全く違う視点から（捉える）お話で、とても目からうろこでした。ひきこもりは、本人だけでなく家族の関係やバランスが大きく関わることを改めて感じました。 ・ひきこもりというと、その本人のみに目がいき、本人の問題として捉えていたが、今日の話聞き、考え方、見方がわかりました。 ・ひきこもり当事者の周りの家族の隠れた問題、関係性に注目して問題の整理のサポートをしていきたいです。 ・実際の事例を交えながらの講話がとてもわかりやすく興味深かったです。現在対応中のケースの参考になる話もあり、先生の講話にまた参加したいと思いました。 ・ひきこもり、不登校ととらわれず、当事者が置かれている環境面など広い視点、視野をもつと課題が見えてくるのだなと感じました。 ・面談の中で見えているもの、見えていないものもたくさんあると改めて気づかされました。できないことよりできることを見つけていきたいです。 など